



## 開政クラブ 板倉 操 議員

- 1 神戸中学校の跡地利用について
  - (1) 進捗及びタイムスケジュール
  - (2) 利用の基本的な考え方について
- 2 台風17号の教訓について
  - (1) 被害状況の把握の方法について

**質問1(1)** 校舎の取り壊し後、土台は残されているが10ヶ月以上経過している。進捗と今後のスケジュールはどうなっているのか。

**答弁1(1)** 中学校跡地は遺跡に指定されている。平成25年度に発掘調査を実施し、土台部分の解体は平成26年に予定している。登記等の事務処理もあり更地にし公園整備、道路整備、その他土地の売却までは相応の期間を要する。第2グラウンドは発掘調査の必要性

がないので早期に売却する。

**質問1(2)** 第2グラウンドの利用については、大切な公共の土地なので福祉や医療施設等目的を定めての売却が市民への貢献度も高い。緊急一時避難地の役割も担う公園整備だが、実施計画に載ってない。どのようにしていくのか。

**答弁1(2)** 売却にあたっては庁内の「公有財産判定会」で審議する。跡地利用については、現在の実施計画に記載されていないが事業推進に取り組む。

**質問2(1)** 被害状況の把握や被災された方々への支援策は災害対策運営マニュアルに沿ってやったのか。マニュアルの検証もしたと思うが教訓は何か。

**答弁2(1)** 更なるマニュアルの徹底と災害対応には多くの職員の従事が必要だとの認識が深まった。



## あくていぶ21 野間 芳実 議員

- 1 子育て支援について
  - (1) 病児・病後児保育について
  - (2) アレルギー除去食について

**質問1(1)** 病児・病後児保育の現状と新たな受け入れ施設の予定はどうか。医療機関以外での対応として、病児・病後児保育事業(自園型)について、検討されたことはあるのか。

**答弁1(1)** 本市の病児・病後児保育については、白子クリニック小児科に委託して、鈴鹿市病児保育室「ハピールーム」として事業を実施している。当面の間は新たな受け入れ施設は考えていない。体調不良児対応型の保育は、全国的な事例も少なく、施設面や人的な配置等、要件を整えることは難しいが、今後の病児・病後児保育

の有効な手段と考えており、今後の的確なニーズ把握に努め、検討してまいりたい。

**質問1(2)** 完全除去や不完全除去の概要と対象人数及び補助金と今後の対応について問う。

**答弁1(2)** アレルギーのある児童の状況にあわせ、医師の指導により、原因となる食物を給食から完全に除去する完全除去とその一部のみを除去する不完全除去がある。市内の保育所で食物アレルギーのある児童は200名、そのうち119名が完全除去、81名が不完全除去の児童である。平成21年度から私立保育園を対象に本市単独で「鈴鹿市特別支援保育事業費補助金」を交付している。今後は補助対象となる食物の品目数を追加することで少しでも給食現場の実情に合う対応ができるように考えたい。



## 政友会 今井 俊郎 議員

- 1 三重県での国体開催について
  - (1) 開催までの流れと種目誘致は
  - (2) 選手・指導者の育成については
- 2 障がい者雇用について

**質問1(1)** 開催までの流れと鈴鹿市での種目は。

**答弁1(1)** 本年8月三重県で準備委員会が設置され、現在会場地の選定に向け意向調査が実施されている。鈴鹿市でも会場誘致に必要な調査を行っており、実績がある施設を対象に鈴鹿市体育協会や、各種目団体と調整を図っていききたい。来年1月よりヒアリングが実施され、順次会場地が内定される。

**質問1(2)** 主要選手は現在の小中高生が中心となるが選手育成への考えは。

**答弁1(2)** 学校教育での小中学生の体力向上の取組として、授業の工夫改善を進めており、体育科の研修会充実にも努めたい。また、小学生の段階からジュニア選手を発掘し育成・強化すると共に中学校、高等学校でも継続して競技を続けられるよう専門性に配慮した指導者の配置が求められることから、関係団体との協力体制が必要不可欠と考えている。

**質問2** 民間企業の障がい者雇用率アップの状況は。

**答弁2** 現在「障害者総合相談支援センターあい」と連携し一定の期間、障がいのある方が職場を体験し事業所も障がいのある方の能力を知ることができるように「障害者等職場体験実習費助成事業」を実施している。障がい者の自立支援の面から雇用にも努めていきたい。